

事故情報

タイトル	誤操作によるLPガス漏洩・爆発・火災事故				
発生年月日	平成16年10月	発生場所	太宰府市	ガス種	液化石油ガス
概要	<p>食品製造販売店のバルク貯槽（300kg×2基）へ充てんのため、塀の下部の隙間から充填ホースを通した後、反対側から強く引っ張ったところ、安全継ぎ手が作動し離脱した。充てん作業者が現場で安全継手を接続しようとしてバルクローリー側充てんホース内の圧力（LPガス）を抜く作業を行っていた。安全継手と充てんホース接続部のニップル部を緩めたが、その際、セイフティ止弁（ボール弁）を閉めていなかったため、そこから液状のLPガスが噴出した。充てん作業者は、直ぐにバルクローリーへ戻り非常停止スイッチを押して緊急遮断弁を閉止した。その間に漏洩したLPガスが店舗工場内に流入して、何らかの火気から引火、爆発し、工場及び隣家等を全焼した。これにより、ガラス破片にて第三者が額に裂傷を負った。安全継手の脱着が頻繁に発生していたことも間接的な原因と推定される。（推定漏洩量8kg。）</p>				
対策・改善事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 安全継手が外れた際の脱圧手順を基準化し、関係する従業員全員に教育を行い、周知徹底する。脱圧は、自社或いは近隣の高圧ガス製造事業所に移動し、周囲の状況等安全を確保しながらローリーに付属しているブリーダー弁を使って行う。 2. 安全装置作動時の対応訓練及び事故発生時の対応訓練を関係する従業員全員に対し実施する。 				

写 真

